

平成26年度 事業報告書

自 平成26年4月1日
至 平成27年3月31日

東京都中央区築地3丁目11番6号
(一財) 日本モーターサイクルスポーツ協会 (MFJ)

平成26年度事業報告

I. 会員登録状況

1. ライセンス会員数（平成27年3月31日（最終））

WEB申請が定着し、約92%がWEBによる申請。

		12年度	13年度	14年度	14年度計画	前年比	計画比
会員数	競技会員	15,615	15,062	14,680	15,000	97%	98%
	エンジョイ会員	2,897	2,656	2,374	2,500	89%	95%

2. 各種目のライセンス発行枚数（平成27年3月31日）

① ロードレース **5,567枚**（昨年5,757枚）前年対比**97%**

種目	区分	11年度	12年度	13年度	14年度	前年比
ロードレース	国際	808	836	828	837	101%
	国内	3,708	3,525	3,405	3,327	98%
	フルタイム	1,794	1,514	1,468	1,351	92%
	ジュニア	92	56	57	52	91%
	計	6,402	5,931	5,758	5,567	97%

② モトクロス **1,778枚**（昨年1,871枚）前年対比**95%**

種目	区分	11年度	12年度	13年度	14年度	前年比
モトクロス	国際A級	165	163	163	165	101%
	国際B級	462	458	417	387	93%
	国内A級	278	302	290	266	92%
	国内B級	693	624	572	552	97%
	ジュニア	523	401	383	371	97%
	PC	89	39	46	37	80%
	計	2,210	1,987	1,871	1,778	95%

③ トライアル **1,434枚**（昨年1,467枚）前年対比**98%**

種目	区分	11年度	12年度	13年度	14年度	前年比
トライアル	国際A級	133	131	129	143	111%
	国際B級	358	366	366	365	100%
	国内A級	405	414	389	370	95%
	国内B級	613	547	576	558	97%
	ジュニア	12	6	7	5	71%
	計	1,521	1,464	1,467	1,434	98%

④ スノーモビル **177 枚** (前年 202 枚) 前年対比 **88%**

種目	区分	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	前年比
スノーモビル	A 級	92	83	82	75	91%
	B 級	152	113	102	86	84%
	ジュニア	27	21	18	16	89%
	計	271	217	202	177	88%

⑤ スーパーモタード **343 枚** (前年 344 枚) 前年対比 **100%**

種目	区分	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	前年比
スーパーモタード	A 級	236	249	217	213	98%
	B 級	172	126	127	130	102%
	計	408	375	344	343	100%

⑥ インデューロ **297 枚**(前年 218 枚)前年対比 **136%**

種目	区分	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	前年比
インデューロ	国際	64	76	82	97	118%
	国内	159	189	136	200	147%
	計	223	265	218	297	136%

⑦ ピットクルー **7,444 枚** (前年 7,361 枚) 前年対比 **101%**

種目	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	前年比
ピットクルー	7,706	7,576	7,361	7,444	101%

⑧ 競技役員 **4,455 枚** (前年 4,813 枚) 前年対比 **93%**

種目	11 年度	12 年度	13 年度	14 年度	前年比
役員・講師	5,609	5,179	4,813	4,455	93%

4. 賛助会員

	H25年度	H26年度
法人会員	57件 (57口)	59件 (60口)
個人会員	1件 (1口)	1件 (1口)

5. 年間プレス登録者

	ランク	2012 年度	2013 年度	2014 年度	前年比
プレス	A	80	76	73	97%
	B	12	16	12	75%
	合計	92	92	85	92%

Ⅱ. モーターサイクルスポーツ事業

1) MFJ 公認・承認競技会（講習会含む）の都道府県別申請状況

地区	公認									承認									合計		
	RD	MX	TR	SN	SM	ED	講習会	走行会	公認計	RD	MB	MX	TR	SN	ED	DT	GO	承認計	申請数	中止数	開催数
北海道	4	8	8	3	0	7	10	8	48	0	0	1	0	0	1	0	0	4	52	4	48
東北	5	12	16	0	2	4	14	6	59	4	5	1	2	0	0	0	0	12	71	0	71
関東	11	21	23	2	1	1	49	2	110	9	1	1	10	0	0	0	1	22	130	5	125
中部	9	13	14	0	1	0	21	4	62	6	4	0	8	0	0	0	0	18	80	1	79
近畿	0	5	9	0	2	1	7	0	24	0	0	0	1	0	0	0	0	1	25	1	24
中国	7	10	16	0	4	3	14	1	55	2	8	1	4	0	1	0	0	16	71	3	68
四国	0	8	8	0	0	0	4	2	22	0	0	0	0	0	0	0	0	0	22	1	21
九州	7	7	8	0	5	2	15	0	44	0	0	0	0	0	4	0	0	4	48	1	47
合計	43	84	102	5	15	18	134	23	424	21	18	4	25	0	6	0	1	77	501	17	484
前年比	96%	94%	98%	100%	79%	129%	102%	144%	100%	131%	67%	27%	100%		60%		100%	81%	97%	89%	97%
13年	45	89	104	5	19	14	131	16	423	16	27	15	25	1	10	0	1	95	518	19	499
12年	43	93	106	6	23	15	125	13	436	18	33	15	22	1	13	2	5	109	545	14	531

競技会申請数は公認競技会 424 大会（前年比 100%）承認競技会 77 大会（前年比 81%）合計 501 大会で申請数は前年比 97%。承認競技の減少が顕著。

2) 競技会開催状況

(1) ロードレース

① 世界選手権/特別競技会

（世界選手権は文科省・観光庁後援事業）

格式	開催日	大会名	観客数				前年比
			11年	12年	13年	14年	
世界選手権	7月24日～27日	鈴鹿8時間耐久ロードレース	106,000	105,000	109,000	111,000	102%
	10月10日～12日	MotoGP 日本グランプリ	53,212	59,438	61,097	70,271	115%
アジア選手権	9月5日～7日	鈴鹿大会			19,000	18,100	95%
	8月15日～17日	オートポリス大会		17,890	9,860	3,330	34%

② 全日本選手権

文部科学大臣杯は中須賀選手(JSB1000 ャル°木)が3年連続獲得。全戦文科省・観光庁後援事業・全戦FIM公認国際競技会

	開催日	会場	観客数	JSB	GP 2	ST600	GP 3	計
第1戦	4月13日	鈴鹿2&4	51,000	58				58
第2戦	4月27日	オートポリス	15,860	23	24	34	29	110
第3戦	5月25日	もてぎ	11,200	42	25	39	39	145
第4戦	6月29日	SUGO	5,250	24	22	39	35	120
第5戦	8月24日	もてぎ2&4	26,000		23			23
第6戦	9月14日	AP2&4	20,780	27				27
第7戦	9月29日	岡山国際	8,000	31	27	37	36	131
第8戦	11月2日	MFJ-GP鈴鹿	20,500	36	25	35	37	133
合計			158,590	241	146	184	176	747
1大会平均			19,824	34	24	37	35	93
前年			19,204	33	21	36	40	97
前年対比			103%	103%	114%	102%	89%	96%

③ 地方選手権(ナショナル・インター)・承認ロード競技会

地区	公認競技会				承認競技会			
	大会数	参加台数			大会数	参加人数		
		総台数	平均	前年比		総人数	平均	前年比
十勝	4	49	12	120%	4	183	46	105%
SUGO	4	179	45	141%	8	478	60	103%
筑波	4	176	44	76%	10	1,877	188	155%
もてぎ	4	260	65	123%	8	1,133	142	85%
鈴鹿	6	564	94	118%	12	1,597	133	120%
岡山	6	158	26	95%	9	535	59	77%
九州	5	162	32	94%	2	108	54	106%
2014 合計	33	1,548	45		53	5,911	112	114%
2013 合計	32	1,305	41		51	4,996	98	96%
前年比	103%	119%	110%		104%	98%	114%	

支部	承認ミニバイク			
	大会数	参加人数		
		総人数	平均	前年比
北海道	2	119	60	154%
東北	8	435	54	108%
関東	2	815	408	213%
中部	4	115	29	85%
近畿	0			
中国	11	528	48	79%
四国	0			
九州	0			
2014 合計	27	2,012	75	
2013 合計	28	2,089	75	
前年比	96%	96%	99%	

(2) モトクロス

① 全日本選手権

(最終戦は文科省・観光庁後援事業)

場所	開催日	観客数	台数	国際 B 級		国際 A 級		LMX	CX	J85	他
				IB2	Open	IA-1	IA-2				
九州	4月6日	6,600	319	77	73	21	48	41	17	42	
関東	4月20日	8,500	330	83	83	21	49	52	15	27	
中国	5月11日	3,850	341	75	78	22	44	45	29	48	
SUGO	6月8日	3,200	492	86	83	23	47	51	16	52	134
東北	7月20日	1,800	310	74	76	22	46	47	10	35	
SUGO	8月3日	2,800	287	75	74	23	42	56	17		
近畿	9月14日	7,200	346	74	76	24	46	46	25	55	
中国	10月5日	2,821	311	64	67	21	42	44	22	51	
MFJGP	10月26日	5,200	364	84	82	29	46	54	19	50	
合計		41,971	3,100	692	692	206	410	436	170	360	134
平均		4,663	344	77	77	23	46	48	19	45	134
前年		5,263	333	82	81	26	41	42	16	36	
対比		89%	103%	94%	95%	88%	111%	115%	118%	125%	

② モトクロス全国大会 (文科省・観光庁後援事業)

開催日：2014年8月3日(日) 総参加台数 211台 (昨年 248台)

開催場所：宮城県・スポーツランドSUGO

	NA2	NA-O	NB2	NB-O	J85	J65	Kids	Ladies	計
2014年	33	33	31	30	56	28			211
2013年	32	32	34	34	48	33	21	14	248

③ 地方競技会

地区	年度	2014 地方選手権モトクロス			
		ライセンス	大会数	総参加	平均台数
北海道	2014年	215	8	1,537	192
	2013年	226	8	1,448	181
	前年比	95%	100%	106%	106%
東北	2014年	202	8	1,300	163
	2013年	205	7	1,129	161
	前年比	99%	114%	115%	101%
関東	2014年	473	7	1,379	197
	2013年	520	9	1,866	207
	前年比	91%	78%	74%	95%
中部	2014年	281	10	1,159	116
	2013年	283	10	1,350	135
	前年比	99%	100%	86%	86%
近畿	2014年	205	8	826	118
	2013年	188	7	665	95
	前年比	109%	114%	124%	124%
中国	2014年	157	8	818	102
	2013年	183	8	956	120
	前年比	86%	100%	86%	85%
四国	2014年	81	8	474	59
	2013年	95	8	608	76
	前年比	85%	100%	78%	78%
九州	2014年	164	6	401	67
	2013年	171	6	507	85
	前年比	96%	100%	79%	79%
全体	2014年	1,778	62	7,894	127
	2013年	1,871	63	8,529	135
	前年比	95%	98%	93%	94%

(3) トライアル

① 世界選手権

(文科省・観光庁後援事業)

格式	開催日	大会名	観客数(2日間合計)				
			11年	12年	13年	14年	前年比
世界選手権	4月27/28日	トライアル世界選手権 日本GP	7,500	11,500	15,000	16,000	107%

② 全日本選手権

	開催日	場所	観客数	台数	IB	IA	IA-S	併催	台数前年比
第1戦	3月9日	関東	2,600	123	71	41	11		
第2戦	4月20日	近畿	2,150	140	87	41	10	2	109%
第3戦	5月11日	九州	1,287	99	50	39	10		121%
第4戦	7月20日	北海道	650	81	39	28	10	4	111%
第5戦	9月7日	中国	466	140	71	45	10	14	110%
第6戦	10月12日	中部	2,400	129	77	42	10		104%
第7戦	10月26日	東北	750	106	58	38	10		103%
合計			10,303	818	453	274	71	20	
平均			1,472	117	65	39	10	7	
前年対比			95%	105%	105%	106%	92%	83%	

③ 地方選手権

地区	年度	2014年			
		ライセンス	大会数	総参加	平均台数
北海道	2014年	47	7	200	29
	2013年	51	7	198	28
	前年比	92%	100%	101%	104%
東北	2014年	132	8	696	87
	2013年	125	8	616	77
	前年比	106%	100%	113%	113%
関東	2014年	419	7	638	91
	2013年	433	7	730	104
	前年比	97%	88%	87%	88%
中部	2014年	255	9	816	91
	2013年	259	9	791	88
	前年比	98%	100%	103%	103%
近畿	2014年	230	8	672	84
	2013年	226	8	675	84
	前年比	102%	114%	89%	102%
中国	2014年	145	10	550	55
	2013年	163	10	664	66
	前年比	89%	100%	83%	83%
四国	2014年	69	8	287	36
	2013年	69	8	299	37
	前年比	100%	100%	96%	97%
九州	2014年	137	7	430	61
	2013年	141	9	415	46
	前年比	97%	100%	104%	133%
全体	2014年	1,434	64	4,289	67
	2013年	1,467	66	4,388	66
	前年比	98%	97%	98%	102%

④ 第26回トライアルGC

開催日：11月9日 場所：宮城県・スポーツランド SUGO

参加：GCクラス44名、レディース2名、オーバー50 2名、地区チーム対抗3チーム 9名

(4) スノーモビル

年度	開催地	開催日	観客数	台数	B	SC	A	J	他
第1戦	新潟	1月26日	1000	127	57	22	42	6	0
第2戦	長野	2月2日	800	120	61	21	35	3	0
第3戦	真狩	2月9日	400	126	61	23	37	5	0
第4戦	士別	2月16日	500	99	48	22	25	4	0
第5戦	ウイズー	3月3日	700	131	69	24	31	7	0
年間合計			3,400	603	296	112	170	25	0
1大会平均			680	121	59	22	34	5	
前年平均			625	120	60	23	31	7	0
前年対比			109%	101%	99%	97%	110%	71%	

(5) スーパーモタード

① 全日本選手権 ※今年から全日本選手権格式。

	開催日	場所	観客数	台数	S1 PRO	S1 OPEN	S2	併催エリア	承認
第1戦	4月27日	美浜	700	80	15	27	13	25	
第2戦	5月18日	琵琶湖	650	67	15	20	14	18	
第3戦	6月22日	エビス	200	72	15	19	12	26	
第4戦	7月13日	タカタ	350	73	13	23	19		18
第5戦	8月24日	SUGO	550	71	13	19	11	28	
第6戦	9月21日	HSR	300	66	10	20	16	15	5
第7戦	10月19日	名阪	700	77	17	23	14	21	2
第8戦	11月16日	茂原	700	85	19	30	11	25	
合計			4,150	591	117	178	110	158	25
1大会平均			519	74	15	22	14	23	8
前年平均			503	65	13	19	18	17	3
前年対比			103%	114%	110%	121%	77%	135%	278%

② エリア選手権を下記地区で開催。

エリア	大会数	総台数	平均	
東日本	4	79	26	137%
中日本	4	84	21	150%
西日本	4	91	23	144%
沖縄エリア	3	23	8	57%
合計	15	277	18	
2013年	16	251	16	
前年対比	76%	59%	80%	

(6) インデューロ

	開催日	場所	合計台数	全日本				承認
				インターナショナル		ナショナル		
				A	B	N	W	
第1戦	5月18日	テゾヤス<広島>	94	15	15	32	4	28
第2戦	7月27日	ブラザ坂下<近畿>	107	15	11	32	3	46
第3戦	7月13日-14日	日高<北海道>	121	13	15	33	6	54
第4戦	11月23日-24日	SUGO<宮城>	124	13	18	39	6	48
※昨年は3戦	合計		446	56	59	136	19	176
	1大会平均		112	14	15	34	5	44
	前年平均		99	16	16	30	3	35
	前年対比		113%	88%	92%	113%	158%	126%

2) 代表選手派遣事業

(1) モトクロス・オブ・ネーションズ (国別対抗世界選手権)

モトクロス委員会にて選手の選抜並びに代表チームの認定を行った。

- ・開催日：9月27日～28日 開催国：Kegmus (ラトビア)
- ・代表チーム (MX1：成田亮選手、MX2：勝谷武史選手、MXOpen：熱田孝高選手)
- ・順位：34か国中26位 (Bファイナル3位) ⇒ 総合結果 22位

(2) トライアル・デ・ナシオン (国別対抗世界選手権)

- ・トライアル委員会にて選手の選抜を行ったが男子チームは体制が組めず休止。
- ・女子チームは参加し以下の成績

開催日：9月13日 開催国：アンドラ公国

女子日本代表チーム (小谷選手、小玉選手、京藤選手)

順位：13か国中11位

(3) アジア・カップ・オブ・ロードレーシング (アジア国別対抗戦)

	開催日	開催国	参加国	台数	順位
第1戦	8月29日	日本	6	14	1位
第2戦	10月4日	台湾	6	14	6位
第3戦	11月18日	タイ	7	14	2位

最終順位

1位フィリピン、2位インドネシア、3位日本、4位台湾、5位タイ、6位マカオ、7位韓国、8位スリランカ、9位ネパール

(4) ISDE (国際6日間インデューロ)

インデューロ委員会にて選手の選抜並びに代表チームの認定を行ったが本年は出場せず。

クラブチームが2チーム出場し、内1チームが8位を獲得した。

4) 全日本選手権ランキング表彰式典

全日本ランキング表彰式典を2014年12月20日(土)に東京・大手町の日経ホールにて開催。

Ⅲ. 補助金事業

1. (公財) JKAオートレース

国内競技規則書(平成27年版)	交付申請額 : 6,916,000円
	内定額 : 2,542,000円
	交付額 : 2,542,000円

2. 独立行政法人日本スポーツ振興センター「スポーツ振興くじ助成事業」

平成26年度ドーピングコントロール	交付申請額 : 3,419,346円
	内定額 : 3,077,000円
	交付額 : 1,549,000円

Ⅳ. モーターサイクルスポーツの普及振興

1) 普及強化事業

① MFJロードレースアカデミー in Motegi (9期目)

主催 : (一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

会場 : 栃木県・ツインリンクもてぎ 期間 : 2014年4月～9月

内容 : ・会期は年間8回(10日間)

・年間参加(18歳以下) = 6名(昨年6名)

・スポット参加(年齢問わず) : 97名(昨年53名)。

インストラクター : 坂田和人、青木宣篤、武田雄一、小室旭、大久保光、宇井陽一、高田速人

協賛企業 : 日本特殊陶業、ブリヂストン、アライヘルメット、本田技研

② MFJトライアルアカデミー (8期目)

・ 主催 : (一財)日本モーターサイクルスポーツ協会

・ 会場 : 茨城県・真壁トライアルランド(9回)、ツインリンクもてぎ(1回)

・ 対象 : アカデミー1クラス … 初心者(若手)、シニア、女性を対象とした育成プログラム。
アカデミー2クラス … NB上級～IB初級レベルを対象としたレベルアッププログラム

・ 受講者 : 年間13名(昨年8名)

※本年度もスポット参加受付 … 10名が参加(11/18まで実績)

・ 期間 : 2014年9月20日～2015年2月1日まで(計10回)

・ 車両 : 各自持ち込み(レンタル制度なし)

・ 参加費 : 113,100円(年間参加者)、13,300円(スポット参加者、1回あたり)

・ 協賛企業 : 日本特殊陶業、河和田屋印刷、アライヘルメット(年間参加者へ、TR用ヘルメットを支給)

③ MFJレディースロードレース

本年よりツインリンクもてぎにてレース3回、講習会3回開催、今年から250クラスを追加した。

	第1回 5月25日	第2回 7月12日	第3回 11月9日	合計	平均
2014年	20	22	24	66	22
2013年	19	19	17	55	18
2012年	25	26	29	80	27
前年比	105%	116%	141%	120%	122%

④ アジア国別対抗ロードレース

ツインリンクもてぎにて開催。

開催月日：2014年8月23日（土）24日（日）

開催場所：ツインリンクもてぎ 全日本ロードレース第5戦併催

使用車両：CBR150R

主催：（一財）日本モーターサイクルスポーツ協会 協力：ツインリンクもてぎ

参加国：台湾（4）・日本（4）・インドネシア（2）・フィリピン（2）・スリランカ（2）

ネパール（1）<計6カ国>15台

1. 9名の一般参加があり、計25台でのレースとなった。
2. ネパールのライダーはレース経験が浅い為、MFJロードレースアカデミー参加を条件とした。

⑤ MFJ 親子バイク祭り

ポケバイ・ミニバイク界との連携を目的とする同イベントを本年も筑波サーキットにて開催

■2015年3月8日（日）

大会名：MFJ親子バイク祭り in つくば

開催場所：筑波サーキット・コース1000

主催：（一財）日本オートスポーツセンター 協力：三栄書房・MFJ

来場者数：873名（昨年1,583名）※雨天が影響

キッズバイク体験試乗：148名（昨年281名）ストライダー体験：78名（昨年316名）

レース：19名（昨年43名）

2) 安全・環境・健康に関する活動

● レスキュー講習会

モータースポーツライセービング機構（LSO）の加盟を継続。

● ドーピングコントロール

ドーピングコントロールを下記のように実施し、違反者は無かった。

種目	格式	実施日	場所	区分	検査数
ロードレース	全日本	5月25日	TRM	MFJ事業	4
モトクロス	全日本	10月26日	SUGO	MFJ事業	4
トライアル	全日本	10月12日	キョウセイ	MFJ事業	4

● サーキットアドバイザーへの補助

各サーキットのスクール・イベント時安全面の指導を行うサーキットアドバイザー制度促進の為、補助を行った。

● インストラクターセミナー開催

7月5日に東京・印刷会館にてインストラクター養成セミナーを開催 29名受講

● メディカル部会の設立

レーシングドクターを中心としたメディカル部会を新設し、施設間また種目を超えた情報共有を図ることとした。また、近年重要視されている脳震盪への対応について指針を決定し参加者、レース主催者に啓蒙するため国内競技規則書に記載した。

● 安全装備の研究

- ・ 競技用装備部会とヘルメット部会を合併しライダーの装備全般を担当する部会とし、公認規

則の改定等着手。

- ・ メディカル部会と連携しヘルメット外部衝撃と内部衝撃の相関性を研究

3) 広報活動

① オフィシャルホームページ

- 全日本ロードレースおよび全日本モトクロスオフィシャルファンサイトとの情報連携。
- 全日本トライアルの情報強化（ライダー紹介等）および全日本スーパーモト、全日本エンデューロプロモーションサイトとの相互リンクによる情報提供。
- ネットワークショップ検索システムによる地域サポート窓口店舗情報提供。
- 競技会カレンダー検索を毎週更新、主要競技の結果速報・レポート・写真を掲載。
- 平成 26 年 4 月 1 日より平成 27 年 3 月 31 日までに、2,615,991PV/月平均 217,999PV（昨年 219,406PV）のアクセスを得た。
- Facebook 開始

② 競技規則書を 26000 冊作成し競技会員並びに関係者に配布した。

③ メールでの情報発信をライセンス会員向けに月 1 回配信。

④ 大阪/東京モーターサイクルショーで MFJ ブースを設け PR 活動を実施

⑤ フリーペーパー「ライディングリミテッド」を年間 1 回発行。17,000 部作成し、7 月に主要施設と加盟団体に配布

⑥ ポスターカレンダー（加盟団体ごとの地域イベントを中心とした内容）を作成し、ネットワークショップを中心広く配布。

⑦ 全日本ロードレース選手権を中心にシリーズ告知等広報宣伝活動を展開した。

- ・ 無料 BS 放送（BS12）にて毎週午後 8 時の帯番組となり、全日本ロードレース並びにモトクロスを全戦放映し露出を強化。（レース 8 日後月曜放映・レースの無い週はリポート）
- ・ 全日本ロードレース選手権全戦を動画配信サイト USTREAM にてライブ配信、また、BS 1 2 放映用の素材を現地で簡易編集したものをレース 1 時間後に動画配信する MFJ ライブチャンネルを開始し露出を拡大した。アジアを中心に海外からもアクセスあり。
- ・ ファン会員を募集し、231 名が登録（昨年 235 名）
- ・ 専用ホームページ Superbike.jp にて事前告知を中心に展開するとともに一般向け並びにプレス向けのメルマガの配信を行った。※ 3 月～11 月の訪問者数 1,749,254 件（昨年 1,954,993 件 3 月～11 月）※ 筑波大会休止により 1 戦少なくなったことが減少の要因

⑧ 広報部会の設立

- ・ 種目を問わず MFJ の活動を一般メディア・専門誌メディアに発信するため広報部会を事務局直轄として設立し、9 月よりメルマガ配信を開始した。

V. 地方組織

1. 加盟団体会長・事務局長会議

加盟団体の業務委託先が日本二輪車普及安全協会に統合されたことから、今後の業務委託体制について協議を進めている。

2. ネットワークショップ

ネットワークショップ加盟推進活動を行い、104 店舗（昨年 92 店）と微増

3. 加盟団体ごとの活動状況は以下の通り

地区	ライセンス 人数	大会数		全日本選手権						Nショップ°	
		公認	承認	RD	MX	TR	SN	SM	ED		
北海道	804	48	4	0	0	1	3		1	4	
東北	1,311	59	12	1	4	1	0	2	1	11	
関東	6,173	108	22	2	1	1	2	1		30	
中部	2,328	62	18	2	0	1	0	1		14	
近畿	2,583	24	1	0	1	1	0	2	1	22	
中国	1,113	55	16	1	2	1	0	1	1	9	
四国	451	22	0	0	0	0	0			6	
九州	1,299	44	4	2	1	1	0	1		8	
全体	合計	16,062	422	77	8	9	7	5	8	4	104
	前年	17,517	423	95	9	9	6	4	7	4	92
	前年比	92%	100%	81%	89%	100%	117%	125%	114%	100%	113%

VI. 国際交流

世界における MFJ の役割として、海外選手の受け入れ、選手並びに日本代表チーム、事務局員を海外に派遣し、国際交流を促進し、MFJ 並びにアジア地域における人材育成を通じて、モーターサイクルスポーツの活性化を推進した。

- 1) 4月 FIM コース査察・鈴鹿サーキットに事務局員を派遣
- 2) 4月 FIM トライアルトレーニングキャンプ for Women をツインリンクもてぎで開催
- 3) 6月 アジアロードレース選手権インドネシア大会に事務局員を派遣
- 4) 6月 全日本モトクロス SUGO 大会への海外ライダーアテンドとして事務局員を派遣
- 5) 8月 アジア国別対抗ロードレースをツインリンクもてぎの全日本選手権併催で開催
- 6) 8月 日露青年交流プログラム事業として北海道で開催された歓迎式典に会長を派遣
- 7) 10月 アジア国別対抗ロードレース台湾大会に代表チームを派遣
- 8) 10月 アジア国別対抗ロードレースタイ大会に代表チームを派遣
- 9) 10月 MFJ モトクロス GP への海外ライダーアテンドとして事務局員を派遣
- 10) 11月 FIM ヘルズ総会/GALA ヘルモーター並びに FIM アジア総会に会長並びに事務局員を派遣。
- 11) 12月 タイスーパーバイク視察に事務局員派遣。

Ⅶ. スポーツ安全保険等

1. スポーツ安全協会の『スポーツ安全保険』登録業務並びに競技会での受傷者への手続きを行った。

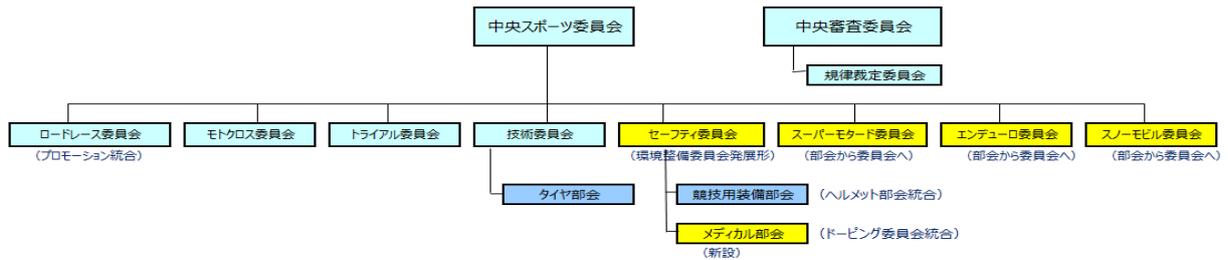
種目	区分	事故通知			保険請求		
		A1	C	計	A1	C	計
ロードレース	国際		22	22		21	21
	国内		29	29		27	27
	フルツマン		10	10		8	8
	ジュニア	1		1			
	計	1	61			56	56
モトクロス	国際A級		15	15		14	14
	国際B級		14	14		15	15
	国内A級		3	3		4	4
	国内B級	2	19	21	2	16	18
	ジュニア	11		11	8	1	9
	計	13	51	64	10	50	60
トライアル	国際A級		3	3		1	1
	国際B級		10	10		8	8
	国内A級		6	6		4	4
	国内B級		3	3		1	1
	ジュニア		1	1		1	1
計		23	23		15	15	
スノーモビル	S A		2	2		4	4
	S B		1	1		2	2
	計		3	3		6	6
インデューロ	国際		1	1		1	1
	国内		3	3		2	2
計		4	4		3	3	
モタード	A		1	1		1	1
	B		1	1			
計		2	2		1	1	
ピットクルー			1	1		1	1
エンジョイ			12	12		10	10
競技役員			3	3		3	3
2014年度 合計		14	160	174	11	145	156
2013年度		23	174	197	15	155	170
前年比		60%	92%	88%	73%	94%	92%

※A1＝中学生以下

Ⅳ. 諸会議の開催 (平成 26 年 4 月～平成 27 年 3 月)

1. 委員会の再編

- 1) 中央スポーツ委員会の役割を今までの最終承認機関から MFJ 中長期ビジョンを策定し専門委員会に方針を示す役割とし、専門委員会は権限と責任を持たせ、施策決定の迅速化を図ることとした。
- 2) 7 月に専門委員会を解散し、推薦母体にて選任いただき 11 月に新たに組織した。
- 3) 再編後の組織は以下のとおり。※セーフティ委員会のみ未組織



2. 会議の開催

諸会議					
5 月	20 日	トライアル作業部会	10 月	7 日	広報部会
	22 日	中央スポーツ委員会		9 日	モトクロス作業部会
	27 日	技術委員会		17 日	ロードレース作業部会
6 月	2 日	運営財務委員会		23 日	スノーモビル作業部会
	4 日	理事会		28 日	中央スポーツ委員会WG
	12 日	広報部会		29 日	競技用装備部会
	6 日	代表者会議		4 日	広報部会
	19 日	技術委員会		5 日	中央スポーツ委員会
7 月	24 日	評議員会		6 日	トライアル委員会
	26 日	トライアル委員会		11 日	モトクロス委員会
	1 日	モトクロス普及作業部会	12 日	エンデューロ委員会	
	2 日	スーパーモトード部会	13 日	ロードレース委員会	
	8 日	エンデューロ部会	18 日	スーパーモト委員会	
	10 日	広報部会	19 日	技術委員会	
	11 日	競技用装備準備委員会	27 日	スノーモビル委員会	
	15 日	スノーモビル部会	29 日	メディカル部会	
8 月	16 日	プロモーション委員会	12 月	2 日	広報部会
	17 日	ロードレース委員会		3 日	加盟団体会議
	18 日	中央スポーツ委員会		11 日	運営財務委員会
	4 日	中央スポーツ委員会WG	14 日	トライアル作業部会	
	5 日	広報部会	16 日	理事会	
9 月	20 日	中央スポーツ委員会WG	1 月	23 日	ロードレース委員会(全日本)
	28 日	トライアル作業部会		27 日	モトクロス作業部会(安全)
	3 日	競技用装備部会		28 日	技術委員会
9 月	4 日	広報部会	2 月	29 日	競技用装備部会
	5 日	メディカル作業部会		6 日	ロードレース委員会(運営)
	10 日	中央スポーツ委員会WG	24 日	トライアル委員会	
	24 日	技術委員会	3 月	2 日	ロードレース委員会(普及)
	25 日	中央スポーツ委員会WG		3 日	技術委員会
		5 日		運営財務委員会	
			10 日	理事会	
			24 日	評議員会	

IX. その他の事業

1. 競技会申請のWEB化

主催者の利便性と事務効率化を目的に競技会申請をWEB上で行うシステムを12月より稼働した。

2. ロードレースセミナーの開催

平成27年度ロードレース競技を円滑に運営する為、全国の公認サーキットより競技監督・車検長等主要オ
フィシャルを集めセミナーを開催 平成27年2月21日 東京・印刷会館 出席60名

以上

■平成26年度事業報告 附属明細書

平成26年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」
第34条第3項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作
成しない。

平成27年6月23日
一般財団法人 日本モーターサイクルスポーツ協会